

令和3年度 連携事業実績一覧表

	実施件数	備考
実施事業 (○)	15	
未実施事業 (×)	10	コロナにより未実施 その他 8件 2件
計	25	

No.	大学_種類	事業名	大学担当部署	市担当部署	内容		事業効果・成果	今後の課題等
1	インターンシップ	公共サービスのイノベーション人材育成事業	経営学部	市民生活部 市民室 出張所担当	○	<p>【事業概要】出張所の窓口サービスをより良くするための調査・提案活動を行う。出張所が現地調査を行い、そこから生まれた課題に対し、改善案の提案・実施に向け取り組む。</p> <p>【実施内容】業務改善について意見交換のうえ、改善内容を窓口案内図に決定し、改善に取り組んだ。</p> <p>【事業概要】学芸員課程の実習生の受け入れ及び講師派遣。</p> <p>【実施内容】令和3年4月24日(土曜日)に博物館学芸員資格課程教育の一環として学生7名と引率教員1名が来館した。美術館学芸員が学芸員の仕事について説明を行い、特別陳列「北斎」の展示見学をあわせて行った。</p>	<p>桃山学院大学生から日常業務の中で出張所職員だけでは提案できなかった市民目線の案内図を提案いただき、窓口サービスの改善に繋がった。</p> <p>また、案内図の改善だけでなく、カーペットに業務ごとに色分けによる矢印テープを張ったことで、窓口の動線がわかりやすくなった。</p>	今年度はコロナ禍の影響で、桃山学院大学がリモート授業の期間があり、桃山学院大学生との会議を十分に行うことができなかった。 <p>来年度においてはリモートでの会議も視野にいれ、市民サービス向上に繋げたい。</p>
2	インターンシップ	博物館学芸員課程 博物館実習	経営学部	生涯学習部 文化遺産活用課	○	<p>【事業概要】学芸員課程の実習生の受け入れ及び講師派遣。</p> <p>【実施内容】令和3年4月24日(土曜日)に博物館学芸員資格課程教育の一環として学生7名と引率教員1名が来館した。美術館学芸員が学芸員の仕事について説明を行い、特別陳列「北斎」の展示見学をあわせて行った。</p>	<p>学生の感想として、学芸員の仕事に興味を持った、久保惣記念美術館に行ってみたいという反応を得ることができた。</p>	
3	インターンシップ	教育・文化・スポーツの発展と振興に関する事業 (学芸員課程履修学生の受け入れ及び講師派遣)	経営学部	生涯学習部 久保惣記念美術館	○	<p>【事業概要】美術館施設の見学及び講師派遣。</p> <p>【実施内容】令和3年6月2日(水曜日)3時限にインテグレーション科目「図書館・博物館への誘い(春)」のゲスト講師として「博物館・学芸員の面白さー美術館の観点から」というテーマで、大学にて講義を行った(リモート講義)。久保惣記念美術館の事業や学芸員の仕事について講義し、美術館や学芸員職への興味をもってもらえるよう努めた。</p>	<p>学生の感想として、学芸員の仕事に興味を持った、久保惣記念美術館に行ってみたいという反応を得ることができた。</p>	学芸員を目指す学生に有益な事業や久保惣記念美術館にもっと学生に来てもらえるような事業の検討
4	インターンシップ	和泉シティプラザにおける 桃山学院大学インターンシップ 実習生の受け入れ 【生涯学習センター管理運営事業】	キャリアセンター	生涯学習部 生涯学習推進室 生涯学習担当	×	<p>【事業概要】生涯学習連携事業の一環で実施しているインターンシップ制度。受入先は、生涯学習センター・図書館・保健福祉センター・男女共同参画センター・和泉市役所出張所のいずれか。</p> <p>【実施内容】令和3年度は新型コロナ感染拡大防止のため取り組み中止</p>	—	—
5	ボランティア	和泉ボランティア・市民活動センター 「アイ・あいロビー」との連携事業 (子育て世代応援「ももやまキッズランド」)	ボランティア活動支援室	市長公室 公民協働推進室 公民協働推進担当	○	<p>【事業概要】ももやまキッズランドの開催。(学生とボランティアが協力し、子育て世代の親子を応援する。楽しく交流できる場を企画。)</p> <p>【実施内容】「アイ・あいロビー」とコミュニティカフェ「オアシス」の協働による「ももやまキッズランド」は新型コロナウイルス感染症対策として、屋外での「ももやまキッズランド」としてエコール・いずみ「アムゼ広場」での開催を企画したが、緊急事態宣言発令のため中止となった。緊急事態宣言解除後、8月の「夏休み親子ふれあい日帰りキャンプ」および11月の「和泉ボランティア・市民活動フェスタ」の中で、学生主体のコーナーを設け、親子で楽しく交流できる場を企画し、協働で実施した。</p>	<p>新型コロナウイルスの影響により、ももやまキッズランドは実施できなかったが、大学側と協議は重ねていたため、大学側との連携強化に繋がった。</p>	コロナ禍の中、何ができるかを検討していく必要がある。
6	ボランティア	防犯ボランティア「桃バト」	学生支援課	市長公室 公民協働推進室 危機管理担当	×	<p>【事業概要】警察等とも協働し、防犯キャンペーン、交通事故防止キャンペーン、下校時見守り活動等のボランティア活動を行う。</p> <p>【実施内容】新型コロナウイルス感染症の影響により活動なし。</p>	—	※新型コロナウイルス感染症の状況を踏まえて実施
7	ボランティア	信太山クロスカントリー大会 IN大阪和泉	ボランティア活動支援室	生涯学習部 生涯学習推進室 スポーツ振興担当	×	<p>【事業概要】大会を通じた大学の広報活動支援、大会当日の受付や走行ランナーの安全を確保する陸上競技部のランナーボランティア。</p> <p>【実施内容】新型コロナウイルス感染症拡大防止のためイベント中止</p>	—	—
8	ボランティア	IZUMIスポーツフェスティバル等のイベント	ボランティア活動支援室	生涯学習部 生涯学習推進室 スポーツ振興担当	×	<p>【事業概要】IZUMIスポーツフェスティバル等のイベントに係るボランティア(企画、運営含む)。</p> <p>【実施内容】新型コロナウイルス感染症拡大防止のためイベント中止</p>	—	—
9	ボランティア	公共図書館との連携事業	地域連携室	生涯学習部 生涯学習推進室 生涯学習担当	○	<p>【事業概要】市立図書館での事業を連携・参画して実施し、学生と地域の子どもたちや図書館利用者が様々な形で触れ合う場の提供。 ・図書館司書課程を学ぶ学生に市立図書館の現場の仕事や取り組みを具体的に伝える。</p> <p>【実施内容】シティプラザ図書館にて、桃山学院大学 児童文化研究会「オズ」による絵本や紙芝居の読み聞かせを開催。</p>	<p>大人10名、子ども19名が参加。本を通して子どもたちと学生が交流できる場を設けることができた。</p>	新型コロナウイルス感染拡大防止のため、感染対策を十分に講じたうえでの実施となった。コロナ収束後は、1年に1度の開催ではなく、複数回の開催ができればよい。
10	桃山学生向け	法職オリエンテーション	法学部	市長公室 人事課	○	<p>【事業概要】学生の学習意欲の向上を図り、和泉市への関心や市政への参加意欲を高めるとともに、将来の就職先として和泉市職員の志望者数の増加を図るため、市長・職員が市役所の仕事や和泉市について講義を行う。</p> <p>【実施内容】(講義日程/対象者/講師) ①令和3年5月28日(金)13時20分～14時50分 法学部3回生/人事課職員 ②令和3年12月9日(木)13時20分～14時50分 「業界職種研究」履修学生/人事課職員 ③令和3年12月10日(金)15時00分～16時30分 法学部1回生/人事課職員 ④令和3年12月17日(金)15時00分～16時30分 法学部1回生/市長</p> <p>(講義内容) ①～③和泉市の概要、市の組織、市の役割と施策、採用試験の概要 ④和泉市の概要、市の役割と和泉市の施策、市長の仕事とは、学生へのメッセージ</p>	<p>将来の就職先として市役所を志望し、新規採用職員に申し込みしてくれている。</p>	—
11	桃山学生向け	デートDV防止講演会	法学部 学部事務課	総務部 人権・男女参画室 人権・男女参画担当	○	<p>【事業概要】学生や教職員、一般市民を対象に女性に対する暴力をなくす啓発事業の一環として、デートDVに対する正しい理解を深めるために講座を開催する。(法学部は授業の一環で単位取得の位置付け)</p> <p>【実施内容】デートDVに対する正しい理解を深めるために講座を開催。</p>	<p>SDGsの中から、ジェンダー平等について取り上げ、デートDVに係る国内外のデータの参照や対人関係とコミュニケーションを考える個人ワークを交えながら、女性に対する暴力をなくす運動に運動し、防止について考えを深めることができた。</p>	—

令和3年度 連携事業実績一覧表

	実施件数	備考
実施事業 (○)	15	
未実施事業 (×)	10	コロナにより未実施 その他 8件 2件
計	25	

No.	大学_種類	事業名	大学担当部署	市担当部署		内容	事業効果・成果	今後の課題等
12	桃山学生向け	経営学特講—まちをビジネスする	経営学部	環境産業部 産業振興室 商工観光担当	○	【事業概要】 ・まちをビジネスする(観光ビジネス) 令和2年度と同様に地域資源を活用した観光ビジネスの現状・発展の可能性について学ぶため、学生自らがフィールドワークにて得た情報を基に、和泉市の観光ビジネス案を作成し、プレゼンテーション等を行う。(経営ビジネス学科の学生による全15回の定期講義) 【実施内容】 地域資源を活用した観光ビジネスの現状・発展の可能性について学ぶため、学生自らがフィールドワークにて得た情報を基に、和泉市の観光ビジネス案を作成し、プレゼンテーション等を行った。(経営ビジネス学科の学生による全15回の定期講義を行った)	事業効果としては、市内の観光施設をテーマに来訪者を増加させる施策の検討や旅行会社の立場から市内観光施設でどのようなすれば利益をあげることができるかなど、ビジネスの視点で講義を行い、その中で市内観光施設を学生の皆さんに知ってもらうことができた。	—
13				生涯学習部 生涯学習推進室 生涯学習担当	○	【事業概要】 ・公共施設の経営 公共施設の経営をビジネスという観点からとらえ、利用者を増やすための手立てを検討する。「和泉シティプラザの現状と課題」をテーマに、市職員による課題の提示、現地見学、グループディスカッション、プレゼンテーション報告会を行う。 【実施内容】 公共施設の経営をビジネスという観点からとらえ、利用者を増やすための手立てを検討する。「和泉シティプラザの現状と課題」をテーマに、市職員による課題の提示後、現地見学、グループディスカッション、プレゼンテーション報告会を行った。 具体的には、「シティプラザ貸館の利用件数及び利用料収入を増やす方法」や「文化芸術振興補助金事業の収支のマイナスを改善する方法」をテーマとして考察していただいた。	大学生の視点から、グループごとに様々な提案をプレゼンにて提示していただき、施設経営の手法の参考となった。	今後、他の所管施設についても取り組みを実施したい。
14	市民向け	アメリカンフットボール部地域支援事業 (フラッグフットボール指導)	アメリカンフットボール部	教育・子ども部 学校教育室 教育指導担当	×	コロナにより未実施 【事業概要】 アメリカンフットボール部による小学校へのフラッグフットボール指導(出前授業)やグラウンドでの試合体験 【実施内容】 新型コロナウイルス感染拡大のため、未実施。	—	—
15	市民向け	いずみ市民大学教養学部 における連携講義	エクステンション・センター	生涯学習部 生涯学習推進室 生涯学習担当	○	【事業概要】 いずみ市民大学教養学部にて、教員が座学による講義を提供する。 【実施内容】 いずみ市民大学(教養学部)における連携講義の調整及び実施を依頼した。5名の教員の協力のもと、文化財、ニュース、歴史、相続法に関することなど計55回の講義を行っていただいた。	市民の興味に基づいた講義をしていただき、市民大学設置の目的である市民の学習意欲の醸成、活力ある地域社会の実現とまちづくり活動を担う人材の育成にご協力いただいた。	—
16	教育支援	教育・文化・スポーツの発展と振興に関する事業	教職センター	教育・子ども部 学校教育室 教職センター	×	【事業概要】 ・学外研修(学校現場体験) 学生が、市立小中学校・義務教育学校・幼稚園・保育園・教育センター、生涯学習推進室等で、様々な教育活動の補助にあたる。学生は当該活動が学外研修として単位認定される。 【実施内容】 大学として単位認定を伴う形での事業実施が行われなくなったことにより、参加はなかった。	学生参加がなかったため、検証できず	大学としての単位認定を伴う事業実施が行われていない状況である(令和4年度についても確認済)。各年度当初に、事業実施の有無について、教職センターに問い合わせ、確認する必要がある。
17	教育支援	教育・文化・スポーツの発展と振興に関する事業 (和泉市中学生生徒会サミット)	教職センター	教育・子ども部 学校教育室 教育指導担当	○	【事業概要】 ・和泉市生徒会サミット 事前に設定したテーマをもとにグループで討論会を実施する。 【実施内容】 令和3年度は、中学生による「各校の校則について」をテーマにリモートで発表を行った。 日時 令和3年8月25日(水) 場所 各中学校 内容 各中学校の生徒会役員のリモートによる発表 (教職課程在籍の大学生もリモートで参加し意見交流) 「各校の校則について」 ・もし、新しく校則を作るならどのような校則が必要か ・不要な(厳しすぎると思う)校則について ・おしやれに関する校則の是非(髪型、髪色) をテーマにリモートで各校発表を行い、グループ討論会を行った。	今年度で、11回目の開催となり、生徒会役員にとつての活動の場となっている。また、当日は大学生からの意見等により、考えを深める機会となっている。今回は「各校の校則について」リモートによる発表やブレイクアウトルームの活用によるグループ討論会を行い、各校の取組みを知ることで、今後の取組みを考えるよい機会となった。	特になし
18	委員委嘱	和泉市地域福祉総合相談員配置促進事業(CSWへのスーパーバイズ)	社会学部	福祉部 福祉総務課	○	【事業概要】 専門的見地から個別支援や地域支援の事例を通して、CSWの課題整理やアドバイスをいただき、CSWの取組をより充実させる。 【実施内容】 第1回(令和3年6月) 令和3年度にCSW担当者の入れ替わり(8人中4人)があったため、新任者向けに増進型福祉についての考え方を小野教授より説明頂き、令和3年度のSVの内容について共有した。 第2回(令和3年10月) CSW担当地域の事例を通じて、ワークショップや意見交換を行い、地域支援における増進型福祉を学ぶ。 第3回(令和3年12月) CSWが関わる8050問題を抱えた方の個別事例を通じて、意見交換を行い、個別支援における増進型福祉を学ぶ。 第4回(令和4年3月) 各CSWより、増進型福祉を実践した個別事例を発表し、CSW相互の意見や小野教授より助言をいただくことで、増進型福祉の理解をより深めた。	小野教授より、増進型福祉の考え方を通じた個別支援や地域支援の事例について、アドバイスをいただくことでCSWの支援の幅が広がった。また、地域住民向けの勉強会開催のため、地域との調整方法などをCSW間で共有することで、地域との関わり方についても学ぶことができた。	—
19	委員委嘱	社会的居場所づくりプロジェクト	社会学部	福祉部 福祉総務課	×	コロナにより未実施 【事業概要】 社会的に孤立状態にある人(ひきこもり等)の交流の場を社会学部教授の専門的なアドバイスと学生の柔軟なアイデアを活かし、CSWと協働して、コロナ禍においての実施方法や社会資源の活用、連携の仕組みづくりを一緒に作り、社会的に孤立状態にある人の就労や生活状況の改善など、自立に向けた支援へ結びつける。 【実施内容】 和泉市の認知症支え“愛”を考えるまちづくり連絡会への参画。	—	コロナ禍である以上、学生参加の居場所づくりプロジェクト実施は難しいため、今後どのような形で関わってもらえるか小野教授と調整を行う。
20	委員委嘱	認知症地域で支え“愛”事業	社会学部	福祉部 高齢介護室 高齢支援担当	○	【事業概要】 和泉市の認知症支え“愛”を考えるまちづくり連絡会への参画。 【実施内容】 令和3年度第2回和泉市認知症支え“愛”を考えるまちづくり連絡会に学識経験者としてご参加いただき、当該の認知症事業について、専門的なご意見・アドバイスを頂いた。	連絡会に参加した委員・事務局で、専門的な知識を共有できた。	—
21	桃山学生向け	消費者啓発事業	経済学部	市民生活部 くらしサポート課	×	コロナにより未実施 【事業概要】 消費者被害の防止を目的とし、教員との連携により啓発講座を開催する。 【実施内容】 令和3年度は新型コロナウイルス感染拡大防止のため取り組み中止	—	—

令和3年度 連携事業実績一覧表

	実施件数	備考
実施事業 (○)	15	
未実施事業 (×)	10	コロナにより未実施 8件 その他 2件
計	25	

No.	大学_種類	事業名	大学担当部署	市担当部署		内容	事業効果・成果	今後の課題等
22	委員委嘱	和泉市生活困窮者自立支援事業	社会学部	市民生活部 くらしサポート課	×	コロナにより未実施 【事業概要】 専門的見地から相談支援、地域づくり等に関する助言及び連絡会議の外部アドバイザーとして、参加していただく。 【実施内容】 令和3年度は新型コロナウイルス感染拡大防止のため取り組み中止	—	
23	その他	地域の魅力・顔づくりプロジェクト<和泉中央>	社会学部	環境産業部 産業振興室 商工観光担当	○	【事業概要】 「いき」から広がる大阪の再生」をテーマに、和泉中央駅周辺の活性化を図るため、地域の課題を探り、ニーズにこたえたイベントを企画・実施するにあたり開催されている「まちづくり会議@和泉中央」に参加している。 【プロジェクト推進協議会会員団体】 ・桃山学院大学 ・エコール・いずみ店舗会 ・関西西都市民住サービス エコール・いずみ営業所 ・泉北高速鉄道(株) 運輸部 ・南海バス(株) 光明池営業所 ・株ホンダ 泉州販売 和泉中央店 ・認定こども園いふきのPreSchool	鉄道・バス事業者、商店街、学校など地域の多様な関係者と行政が協働して、魅力ある和泉中央駅周辺の空間を創造し、まちの活性化を図ることができた。	
24	4つの約束	MOMOYAMAエクステンション・カレッジ	エクステンション・センター	所管部局	×	【事業概要】 地域の方々の知的ニーズにこたえ、より充実した豊かな時間をともに過ごしていただくための社会人向け講座に対し、地場産業や産業・工業関係事業者との調整を行っている。 【実施内容】 事業実施に至らなかった。	—	
25	4つの約束	使い捨てコンタクトレンズ空ケースの回収事業	地域連携室	環境産業部 生活環境課	○	【事業概要】 和泉市民が排出する使い捨てコンタクトレンズ空ケースを適正に回収処理し、ごみ減量及び適正処理の市民意識の高揚と再資源の促進を図るため、令和3年2月2日より「いずみプラスチックごみゼロ宣言」の取り組みとして、大学と連携を行い、HOYA株式会社アイケアカンパニーが提供する「アインティecoプロジェクト」に参加している。 【実施内容】 使い捨てコンタクトレンズ空ケースを適正に回収処理を実施。	令和2年度(3月開始)4,273kg、令和3年度69,987kgという回収実績があり、ごみの減量ができています。令和4年度については、(4月15日現在)1,695kgです。また、「アインティecoプロジェクト」に参加していることで、(公財)日本アイバンク協会への寄付行為の社会貢献ができています。	